

ジェンダー平等教育の推進 ~子どもたちと地域の今と未来の幸せのために~

【町民の意識の現状】(町広報紙から)

町民のウェルビーイング(心身が幸せで社会的に良い状態)の実現と地域の持続可能な発展のためには、誰もが尊重され、性別にかかわらず個性と能力を発揮できるジェンダー平等の推進は不可欠です。その前提となる意識の醸成を地域全体で図るため、『子どもたちと地域のジェンダー平等学び合い事業』を龍郷町と宇検村と連携して実施しています。



昨年 11 月号



今年5月号

計画の重点目標Ⅰ ジェンダー平等意識の浸透

施策の方向

- 1 子どもの頃からのジェンダー平等教育の推進
- 2 住民のジェンダー平等教育・学習の推進
- 3 役場における男女共同参画・ジェンダー平等の理解の浸透
- 4 男女共同参画・ジェンダー平等に関する広報・啓発の推進
- 5 性別により格差や不平等が生じないための制度・慣習の見直し等
- 6 福祉分野におけるジェンダー平等の浸透
- 7 性の多様性についての理解促進と尊重される環境整備

主な取組

- ・児童生徒や保護者・地域の方々対象のワークショップ
- ・教職員セミナー・役場職員研修
- ・町報への広報啓発記事の掲載
- ・啓発資料・関係図書の展示

■子どもたちと地域のジェンダー平等学び合い事業とは

子どもたちと子どもたちを育む学校教職員や保護者・地域の方々が人権・ジェンダー平等の理解を深めることにより、誰一人取り残されない一人ひとりが尊重される地域づくりを促進することを目的としています。

【事業内容】

各学校で、すべての児童・生徒対象のワークショップ、教職員対象のセミナー、保護者や地域の方々対象のワークショップを実施します。

【これまで実施した学校等】

昨年度：池地小中学校、阿木名小中学校、古仁屋高校(生徒のみ)
幼稚園・保育園(教職員のみ)

今年度(5月)：嘉鉄小学校、古仁屋小学校 ※事業は継続中です。

【ワークショップで学ぶ主なこと】

- ・初めてや慣れていないことは、誰にとっても難しい。
- ・「ちがいは」「まちがいは」ではなく、宝物
- ・私を主語に自分の気持ちを伝える **Iメッセージのコミュニケーション**と新しい価値を生み出す**対話**の大切さ
- ・ひとり一人は多様な存在であるにもかかわらず、**性別**をはじめ目立つ属性で「こうだ」と決めつけてしまうと、差別や排除、不必要な区別が生まれたり、個人の個性や能力が見えなくなり可能性を狭めてしまう。



■子どもの頃からの人権・ジェンダー平等教育は、自己肯定感とチャレンジする意欲を高めます

ワークショップに参加した子どもたちは、大きくうなずいたり、笑ったり、とても楽しそうに学んでいます。始めは発表に尻込みしていても、最後には積極的に手が挙げられます。また、先生方は子どもたちへの声掛け、大人は自分の子育てや孫との関わり方、地域の話し合いのあり方について振り返る貴重な機会になっています。

子どもたちは学校で学んで大切な気づきを得ていますので、もっと多くの保護者をはじめ大人の方々もワークショップを体験していただきたいところです。各地でその機会を作っていただき是非ご参加ください。

役場でも、「対話を大切に認め合う職場づくり～多様性とジェンダー平等の視点を踏まえて～」をテーマに、この事業のワークショップをベースにした職員研修を5月に実施しました。

【ジェンダー平等に関する子どもたちの声(今年度)】(様々な声は昨年度同様「つぶや木」にして学校等に掲示します。)

好きな色や物を、みんなががまんせずに自由に選べる社会が理想です。
(古仁屋小5年生)

ジェンダー平等を守り、差別をなくしていきたいです。
(古仁屋小6年生)

今までは男の子だからできないといけなかったと思っていたことが、できなくてもいいんだと思いました。(古仁屋小6年生)



古仁屋小(2025.5.21)でのワークショップの様子

やっぱり、みんな平等のほうが仲良く楽しく生きられるんだと思った。
(嘉鉄小5年生)

「男の子だから」、「女の子だから」ではなく、「自分は自分らしく」でいいんだと知った。
(古仁屋小5年生)

・『男女共同参画推進総合計画』と『男女共同参画に関する住民意識調査報告書』は町公式ウェブサイトに掲載中です。
・『学び合い事業』や研修の実施を希望される学校や事業所、集落、団体は、役場総務企画課企画係にお問合わせください。